



BE*BOY COMICS

BLACK KNIGHT

BLACK KNIGHT

BLACK KNIGHT

BLACK KNIGHT

BLACK KNIGHT

黒の騎士 歪む齒車

／ 剣 解



黒の騎士 歪む歯車

剣 解

CONTENTS

歪む歯車

3

雑たちの巢

133

天使の顔で悪魔は微笑む

151

あとがき

183

“Black Knight”

Presented by KAI TSURUGI

平和なアラソ王国の末子王子クリスは友好国シヤノンの訓練所でジークと恋に落ちました。

ところが突然波乱がおとすれます。クリスは襲われ父・アラソ王は毒殺未遂!?

騒動の原因は二国の仲違いのせいだということです。

そんな騒動のさなか長い間仲違いしていた大帝國タンドウクの大皇子・ジェイムス出現!!

何と! 父上とタンドウク皇帝は兄弟様いだって!!

二つの国に平和を取り戻すべくクリスはタンドウクへと旅立つのでした。

この時僕を助けてくれた事でジークは騎士に!

お前が無事でよかったよ。お前が助けてくれた事でジークは騎士に!

ジェイムスの目的は次期皇帝の座を奪いアラソ王を皇帝にする事です!

クリスはそのための人質という名目で帝國領オソニアに入国しました。

地下組織にさらわれたりもしたりね

お前が無事でよかったよ

そこに待っていたのは皇太子ローレンスその人で...!?

ジークは大げさしとこなっちゃうの?!

2人の恋の行方にも御注目!

今までの地図



今こんなだよ

目的地はその下のタンドウクだよ



頑張りますのでどうぞ応援してください

ランドーク皇帝 Empress of Darkness
長い間、病に臥せている

ローレンス Lawrence
ランドーク帝国の皇太子

ライオネル Lionel
シェイムスの兄弟

ドゥーガル Dougal
ランドーク帝国内の協力者

親衛隊 Bodyguards to the Prince
クリス達の騎士団

パウエル公 Powell
元・アラン王国の大臣

ブリガドーン Brigadoon
大商団の長、クリス達に協力中

ソリア Solea
パウエル公の情人



ハイド公 Hyde
元狼の騎士

シャノン王 King of Shannon
現世の騎士

アラン王 King of Arann
クリスの父

ゼーク Zeke
クリスの恋人で、直属の騎士

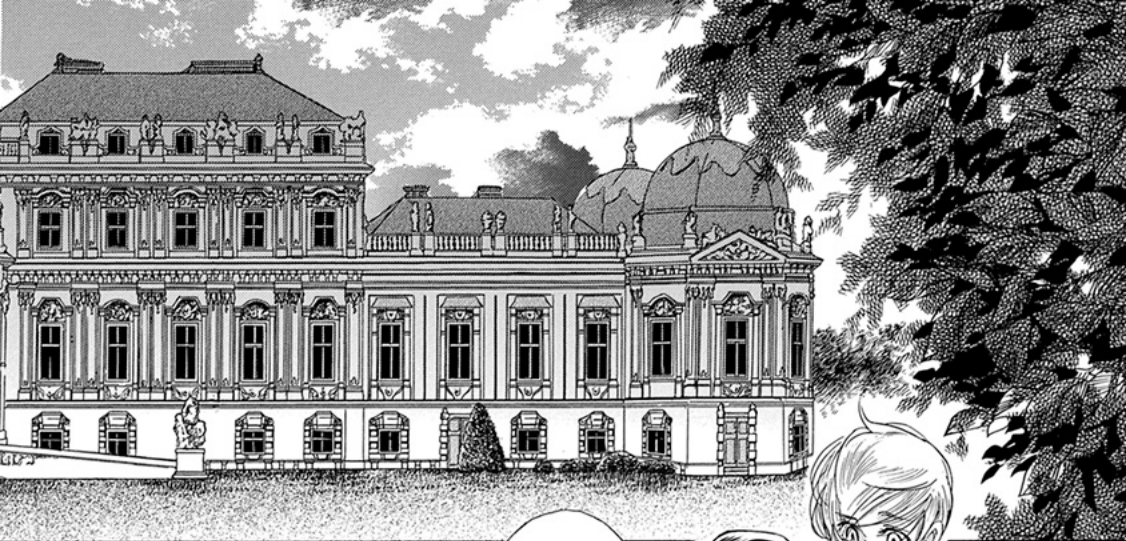
ジェームス James
ランドワーク帝国の第2皇子

クリス Kristen
主人公。アラン王国の第3王子

牙車

はぐるま

黒の騎士



ジーク
本当に大丈夫？
横になつてなくて

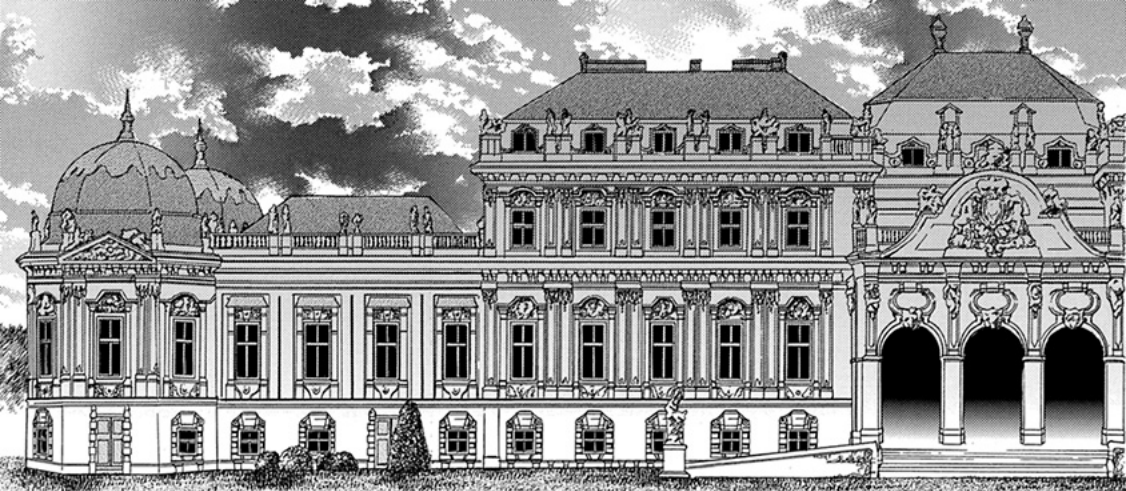
ああ

でも…背中せなかの傷も
治なごりきつてないのに
鞭むちで打うたれたんだよ

ああだが
鷹たかの爪つめに袋叩ぶくきに
された傷きずなら

見た目みえより
良よくなつてた

※鷹たかの爪
シャングジにある
反ダンドワークの地下組織
ジェイムズも身を隠かくしていた





すみません

.....



彼^{かれ}は
皇族^{こうしゆ}なのに

でもまさか
ライオネルが
あんな野蛮^{やまべ}な事
するなんて



ううん違う
謝^{あやま}らなきゃ
ならないのは
僕^{ぼく}の方^{かた}だよ

ごめん！



あれじゃ地下^{ちか}組織^{そくし}や
裏^{うら}組織^{そくし}の人間^{にんげん}と
変わらない！

ううん
もっと悪いかも

だって彼^{かれ}
「退屈^{たいくつ}だから」って
言ったんだ

君^{きみ}をこんな目^めに
あわせた理由^{りゆう}が
退屈^{たいくつ}だからだ
なんて……！



僕^{ぼく}がこのこ
ライオネルに
ついて行^いったり
したから
人質^{ひとしち}にされて
君^{きみ}が戦^{いくさ}うはめに
なったりしたんだ

そんなの
おかしいよ

ダンドウークの
貴族って
皆あなのかな？

だったらまだ
鷹の爪の人達の
貴族に対する
憎しみの方が

マシだったかも
って思うよ…

：クリス

どうもお前は
俺の事になると
感情的すぎや
しないか？

そりや俺は
気にかけて
もらえれば
嬉しいが…

でもこれは
俺の役目だから
いいんだ

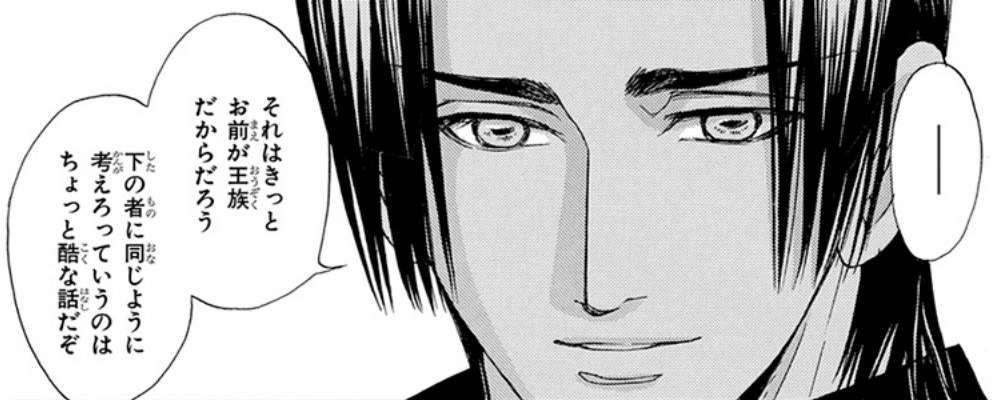
こんな
酷い目に
あうのが！

お前の為に
戦うのが

僕は
違うのに…

ジークは僕の事が
好きっていう前に
騎士だって事の方が
大事なの…？

…僕が
君の為に怒ったら
いけない？



それはきつとお前が王族だからだろう

下の者に同じように考えろっていうのはちよつと酷な話だぞ



俺もお前もお互いに分からない事だらけだ



………
そんな風に言われたら
そうなんだって思うしかなくて悲しいな……

僕には分からないもん

………
そうだな



例えはこうやって
決して手の届かない人に触れる事のできる喜びは……

ただ愛する人に触れるのとは違う

他の人間には絶対に分からないだろうな



.....
この喜びは

俺だけの
ものだ

.....
ッ

ジーク
待って

待っ
.....





...

ん

ん

は

ジーク?

...ん?

もう待ってたら! 誰か来ちゃったらどうするの!!

誰か来ちゃったらどうするの!!

ん...

ん

そうだな...